



グローバルネイチャーポジティブサミット2026熊本

綾中学生徒会が国際会議で発表

7月14日、15日に熊本市で開催された「第2回グローバルネイチャーポジティブサミット（GNPS）」で、日本ユネスコエコパークネットワーク（JBRN）のサイドイベント「次世代が創るユネスコエコパーク」が開催されました。綾ユネスコエコパークからは、綾中学校生徒会がオンラインで参加し、地域での取り組みについて発表しました。

「ネイチャーポジティブ（自然再興）」をテーマにした本サミットには、世界27カ国から約3300人が参加。JBRNのサイドイベントにも約60人が集まり、日本のユネスコエコパークにおける次世代の活動が紹介されました。

綾中学校生徒会は、ユネスコスクールとして地域や町と連携して行う地域貢献活動や、自然共生サイトに認定されている「綾町イオンの森」において行政・企業・学校が協働で実施している環境学習の内容を紹介。また、関係人口の創出・拡大を目指した地域との取り組みについても国内外の参加者に発信することができました。

本サミットでは「熊本宣言」が採択され、2030年までに生物多様性の損失を食い止め2050年まで

に自然の回復を実現するため、政府や自治体、企業、市民など多様な主体が連携してネイチャーポジティブの取り組みを加速させていくことが確認されました。サミットの様子は、綾ユネスコエコパーク公式インスタグラムでも紹介しています。ぜひご覧ください。

